



# J R 連 合 NEWS

J R 産 業 に 集 う  
す べ て の 仲 間 の  
J R 連 合 へ の  
総 結 集 を !!

2023 年 度

N o . 5

2023年6月26日

日本鉄道労働組合連合会

連合「2023平和行動 in 沖縄」に参画

## 世界の平和恒久の実現をめざす決意を確認！

沖縄が「慰霊の日」を迎えた6月23日、連合は那覇市文化芸術劇場「なは一と」において、2023 平和行動 in 沖縄「平和オキナワ集会」を開催した。「語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で恒久平和を実現しよう」をテーマに掲げた同集会には約 1,000 名の仲間が集まり、J R 連合からは J R 九州労組組合員とともに3名が参加した。



集会の第1部では、琉球大学人文社会学部国際法政学科・山本章子准教授より「日米地位協定と沖縄」と題した基調講演が行われた。日米地位協定は諸外国における同様の協定と異なり国内法が適用されないなど占領軍の特権の名残があること、同協定が規定していない事柄が国会審議を経ることなく“合意議事録”や“メモ”に基づき運用されていること等を指摘し、私たちが日米地位協定の内容を理解し、問題点を見直すべくしっかり議論していくことが必要であると説明した。



続く第2部の平和式典では、主催者を代表して連合・芳野友子会長が挨拶に立ち、「私たちが安心して働くためには、平和で安全な社会が不可欠である。本集会を通じて平和の尊さと戦争の悲惨さを再認識し、恒久平和の実現をめざそう」と訴えた。その後、次の平和行動が開催される広島への「ピースリレー」として、連合沖縄・東森政行会長から連合広島・藤井則正事務局長へ“ピースフラッグ”が引き継がれた。最後に、連合沖縄女性委員会・堀川恵委員長が「沖縄からの平和アピール」を提起し、参加者は「沖縄戦の悲劇を二度と繰り返させない」「沖縄が直面する問題の実相を学び、その解決に取り組んでいく」「世界の恒久平和の実現をめざす」ことを確認し合った。



J R 連合は、綱領に掲げる“世界の平和の実現”に向け、連合をはじめ理念を同じくする国内外の労働者と連帯して取り組んでいく。